

東吾妻町 議会だより

第56号
みんなの議会
2020.2.1



太鼓を持って悪魔払い（1月13日／郷原の古谷地区）

今号の内容

12月定例会で決まったこと……………	2
9議員が町政を問う一般質問 ……	6
令和元年度議会報告会……………	16
吾妻中央高校生議会を開催……………	20
東吾妻中学生議会を開催……………	24
各委員会からの活動報告……………	26
まちの声……………	28



令和元年 12月定例会で決まったこと

会期：12月4日～13日（10日間）

令和元年第4回（12月）

定例会に提出された議案など

●町長からは15件（条例関係11件、補正予算4件）の議案が提出されましたが、いずれも原案どおり可決されました。

なお、一般質問は9人の議員が行い町政を質しました。

（6ページから14ページを参照してください）

令和元年度一般会計補正予算が可決されました

歳入歳出にそれぞれ2億9181万8000円を追加し、総額をそれぞれ89億2562万8000円としました。

議員や特別職、職員の給与等が改正されました

人事院勧告に準拠し、また群馬県人事委員会の勧告も考慮して、議会議員、特別職の期末手当、職員、特別職の期末手当、職

員の給与などの改正が行われます。

●議会議員、町長・副町長・教育長の期末手当を年間0・05月分の増額とします。

●職員の初任給及び若年層の給料を月額平均0.1%引き上げるほか、勤勉手当を年間0・05月分増額とします。

東吾妻町自転車型トロッコ貸出し条例

令和2年のゴールデン

令和元年度 補正予算 一 覧

会 計 名	補正額	予算総額
一 般 会 計	2億9181万円	89億2562万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）	△733万円	18億1948万円
国民健康保険特別会計（施設勘定）	△582万円	8479万円
下水道事業特別会計	21万円	5億3399万円
簡易水道特別会計	585万円	7318万円

ウィークにグラウンドオーブン予定の自転車型トロッコについて貸出し条例が制定されました。料金は下記別表のとおりです。

一般会計補正予算一覧（主なもの）

会 計 名	補正額
地域活性化対策費追加	1億4527万円
老人福祉事業	791万円
道路改良費（上信自動車道関連）	833万円
道路復旧費（工事請負費等）	4720万円

自転車型トロッコ使用料

コース	距離	料金（※）
田園コース	0.8km	1,000円
溪谷コース	2.3km	2,000円

※1台2人の料金

東吾妻町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

新たに岩島地区に放課後児童クラブを設置します。名称は「いわしま児童クラブ」とし、旧岩島保育所の施設を使用して設置します。受け入れ定数は25人。児童の受け入れは、令和2年4月1日からを予定しています。

※その他決まったこと

■東吾妻町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

■東吾妻町税条例の一部を改正する条例

■東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■東吾妻町小学校入学祝金及び中学校入学支度金支給条例の全部を改正する条例

■東吾妻町公民館条例の一部を改正する条例

令和元年第3回臨時会 (10月1日～4日)で決まったこと

令和元年度一般会計 補正予算が可決

豚コレラ対策事業として、歳入歳出にそれぞれ2300万円を追加し、総額をそれぞれ86億3381万円としました。

豚舎へのイノシシの侵入防止柵設置への補助で、補助対象事業者は町内8事業者、飼育頭数は約4万6000頭です。

質疑

議員 今回の進入防止柵を設置するための算出基礎について知りたい。また、当町のワクチン接種はいつ頃になるか。それと、豚コレラが発生した場合、東吾妻町管内で殺処分した豚の埋却地は確保できているのか。

農林課長 国のほうから示された上限単価に基づいて算出している。ワクチン接種については、既に発生した9府県が優先ということ、群馬県の接種は、早くて年末、もしくは年明けぐらいと思われる。埋却地については基本的には事業者が用意をするものだが、全頭処分には不十分なため、すぐ使用可能な場所を探している最中。

議員 国からイノシシ用の経口ワクチンが群馬県に800個ほど配付されたようだが、東吾妻町には配付される予定はあるのか。

農林課長 家畜保健所に確認したところ、東吾妻町近辺よりは埼玉、長野県境が優先されるとのこと。

と。それと、町の対策として、各事業者・事業体に消石灰を各35袋配付してある。

議員 イノシシを捕獲した場合、血液検査をしているか。

農林課長 捕獲した場合、猟友会員に血液の採取をお願いしている。4月から8月まで18検体ほど検査したが、全て陰性。郡内でも71頭検査したが、全て陰性。

議員 イノシシ駆除に対しての上乗せの補助金の検討は。

農林課長 今のところ検討していない。

議員 消毒マットの設置予定はあるか。JAには消毒マットが置いてある。

農林課長 家畜保健所と協議中。置くなら役場庁舎がメインで検討中。

議員 農家が一番希望しているのは、全頭へのワクチン接種。豚コレラの清浄国ではなくなっ

てしまつたのではと思うが、現在の我が国の養豚は99%が国内消費。したがって、我が国の輸出戦略の中では大きい問題ではない。

山本県知事は一刻も早くワクチン接種を国の段階で進めてほしいと言っているが、町長の考えは。

町長 ワクチン接種は最良、最後の手段なので、今後も県やJAと協力しながら進めるよう働きかけていく。

工事委託契約の締結

国道145号廃道区間利活用のための工事で、

令和元年度 補正 予算 一 覧

会 計 名	補正額	予算総額
一 般 会 計	2300万円	86億3381万円

八ッ場ダム下にシャトル

バスの転回場を作る工事。

●契約金額…

5713万5000円

●契約相手…群馬県知事

山本 一太

工事請負契約の締結

JR吾妻線廃線敷の安

全対策工事で、道陸神ト

ンネルの補修工事。

●契約金額…

1億4740万円

●契約相手…池原工業

(株) 代表取締役 池原

純(東吾妻町)

質疑

議員 道陸神トンネル補

修工事について、工事の

設計をした会社が施工に

当たつての管理業務を行

うのか。

まちづくり推進課長

設計

については、サンコーコ

ンサルというところに発

注した。管理については、

群馬県八ッ場ダム水源地

域対策事務所の技術を仰

ぎながら町のほうで管理

する予定。

議員 この請負契約の中

で、工事の工法について

示されているのか。

まちづくり推進課長

設計

書に示されている。施工

業者にも設計のとおり工

事を進めてもらうという

事になっている。

議員 どうも工法変更等

で、請負契約の変更とな

り再度議会にかける、と

いう事が多いので、きつ

ちり現場管理をして、期

日内に予算オーバーの無

いようにお願ひしたい。

まちづくり推進課長

業者

の都合で工事が変わる

ようなことが無いよう管

理をこころがける。

議員 トンネル等の構造

物、またのり面などの点

検管理の計画、将来的な

財源はどう考えているの

か。

まちづくり推進課長

毎朝

線路・トンネル内側の点

検を、職員が1回線路を

全部走って確認する。道

路橋梁などは5年に一度

の点検が定められている

が、それに做った方向で

点検をして、早期修繕に

努めたい。財源について

は、今後町道附帯施設と

して管理をしていくので

道路維持管理関係の有利

な財源を使っていく。

議員 万が一、事故が起

こつた場合の保険等とい

うのはあるのか。

まちづくり推進課長

今も

試験運行中だが、お客さ

んにはイベント保険を掛

けている。

議員 修繕の結果、継ぎ

はぎだらけになる可能性

があると思うが、トンネ

ル内の景観についてと、

点検のための照明、その

ための電気工事について

はどうなっているか。

まちづくり推進課長

照明

は自転車型トロッコに

オートライトがついてい

る。トンネル内は暗いの

で、修繕跡は見えないと

思う。点検時には、懐中

電灯等を使う予定。

請願・陳情のしかた

◎請願・陳情とは

町政に対する皆さんの意見や要望を

「請願」「陳情」として受け付けています。

東吾妻町議会議員の紹介があるもの

を請願といい、紹介のないものを陳情

といいます。

◎請願・陳情の書き方と提出方法

・受付締切日

定例会前に開かれる議会運営委員会

の前日(土・日・祝日の場合は、その前

日の午後5時15分まで)

・必要記載事項

請願(陳情)の表題、請願(陳情)

の趣旨、理由、提出年月日、請願(陳情)

者の郵便番号、住所、電話番号、氏名、印

なお、請願の場合は、紹介議員の署

名(または記名押印)、あて先(東吾妻

町議会議長)

・提出先…議会事務局(議長宛)

・その他…邦文で記載してください。

あの請願・陳情はどうなったか？

採択した請願・陳情の処理状況が報告されました。

内 容	処 理 状 況	
町道3005号線（本宿上の原）舗装工事のお願い	平成21年6月採択	処理中
坂上地区のバス運行に関する陳情	平成22年12月採択	処理中
町道程岩・堂ヶ沢線改修工事を求める陳情	平成22年12月採択	処理中
町道1281号（程岩）線改良工事を求める陳情	平成22年12月採択	完結（令和元年7月）
請願書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸下宿区長）	平成23年6月採択	処理中
陳情書 町道鳩の湯線の拡幅改良について	平成23年6月採択	処理中
「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（農林水産省）」事業等導入促進に関する請願書	平成25年3月採択	処理中
地元小規模零細商業者への東吾妻町公共施設の発注拡大に関する陳情	平成25年9月採択	処理中
陳情書（坂上地区からガソリンスタンドを無くさないために早急に対策を）（大戸診療所友の会）	平成25年12月採択	処理中
陳情書（坂上地区にガソリンスタンドを確保するため、事業者の確保と支援を）（坂上地区区長会長会）	平成25年12月採択	処理中
陳情書 町道新井・横谷・松谷線（厚田～三島間）の拡幅改良工事	平成26年3月採択	処理中
陳情書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸上宿区長）	平成26年6月採択	未決
陳情書 町道5267号線の道路改良拡幅工事（辻区長）	平成26年9月採択	未決
萩生地区活性化拠点 観光案内看板・休憩所設置に関する陳情（萩生地区活性化推進委員会）	平成26年12月採択	処理中
十二ヶ原第二畜産団地の排水について【請願】（植栗区長）	平成27年3月採択	未決
町道長寿園線の改良工事に関する陳情書（関谷区長）	平成27年3月採択	処理中
橋梁の架け替えと町道拡幅に関する陳情（漆貝戸区長）	平成27年9月採択	未決
東吾妻町弓道場の新設に関する陳情書	平成27年9月採択	未決
安心して住み続けられる坂上地区づくりに関する陳情（トイレ・GS・直売所）	平成27年12月採択	未決
町道5085号線拡幅改良工事に関する陳情書（在下・上野区長）	平成27年12月採択	処理中
上信自動車道の開通に伴う発展政策提言の陳情書	平成27年12月採択	未決
町立中学校の運営についてのアンケート調査実施に関する陳情書	平成28年3月採択	未決
町道新井・横谷・松谷線拡幅のお願い	平成28年9月採択	未決
町道5247号線ほかの改良の請願（古谷区長）	平成30年6月採択	処理中
日向地区の町道並びに上本丸橋改修に関する陳情	令和元年9月採択	未決
東吾妻町立小学校におけるフッ化物洗口実施に関する陳情	令和元年9月採択	未決

未決…どのような方法で行うか決定されていない

処理中…着手し進行中

55号の訂正

昨年11月発行の「東吾妻町議会だよりみんなの議会」第55号、10ページの本文3段目の3行目「脇屋慎一氏」は、正しくは「脇屋真一氏」です。

以上の点について、訂正してお詫びいたします。

「議会だより」の表紙に掲載する「町の風景」や「行事」などの写真（できたら縦に撮ったもの）を募集しています。また、写真の説明も同封してください。掲載の決定に関しては、掲載時期などは、議会広報対策特別委員会に一任させていただきます。

議会だよりの表紙
写真を募集しています!!

9 議員が町政を問う

一 般 質 問

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（3月中旬に掲載予定）をご覧ください。

Q

健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進めるべき

A

食育と保健指導の推進により実現したい

Q 国立社会保障・人口問題研究所によれば吾妻郡の推計人口は、2020年5万1803人だが2030年には4万3021人と、10年間に8782人減る。しかし75歳以上の後期高齢者人口は、2020年の1万1074人から2030年には1万2384人と増え続ける。地域医療と介護の充実が求められる現実がここにある。「誇りある町づくり」の根本は医療と福祉の充実と考えるが。

A 同感である。「地域包括ケアシステムの深化部会」を立ち上げ医療・介護の連携に努め、特定健診や保健指導を推進し

ていく。

Q 地域医療の水準維持のためには、医療機関と行政が協力しなければならぬが、具体的な取り組みはあるか。

A 「原町赤十字病院との連携強化部会」を立ち上げ、協議を重ねており、国保診療所の医師が日赤の当直業務を開始したところだ。財政的支援も行っているが、追加支援を検討していきたい。

Q 人々が楽しく暮らすためには、健康の維持が大切である。「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」、「妊娠と出産包括支援センターの立ち上げ」などを国から求められており、生活習

慣病の予防や保健指導の推進には、保健師の増員が必要と考えるが。

A 令和2年度には間に合わない。

Q 旧庁舎跡地の利活用に絡めて、原町駅南側の再開発について議論されているが、日赤病院を核に保健センターの移

転や福祉施設の集約などにより医療と福祉のまちづくりを提案する。

A 保健センターは手狭な上に、築32年と老朽化している。移転を考

えているが旧庁舎跡地の利活用については、総合戦略本部の各分科会において検討中だ。



保健センターで行われた「はっぴい歯科検診」



ねづみつぎ
根津光儀 議員

Q 高齢者の運転免許証の自主返納について

A 支援の更なる充実を図る



こばやしこういち
小林光一 議員

我が町の高齢化率（総人口に占める65歳以上の高齢者人口の割合）は40%であり、10年後に町民の半分が65歳以上となる。超高齢化が急激に進行しており、我が町の高齢者対策は喫緊の課題である。

Q 高齢者の運転免許証の自主返納の現状とその取り組みについて伺いたい。

A 平成24年より運転免許証自主返納の支援事業を実施し、現在までの累計返納者は約280名で、東吾妻町共通商品券またはバスカードを交付している。

Q 自主返納を促進するために、身分証明書として使える運転経歴証明書等の交付手数料の全額補助など、更なる支援が必要ではないか。

A 検討材料の一つであり、支援のさらなる充実を図っていく。

Q 高崎市が進めている、過疎地域の高齢者に対する公共バス運賃の無料化を、当町でも実施すべきではないか。

A 来年、坂上地区でもスクールバスと公共バスの連携を図る予定。今後検討していく。

Q 返納したいが、できない高齢者ドライバーの安全性を確保するために、後付け運転サポート装置の補助制度を導入すべきではないか。

A 事故を減らすための良い提案なので、今後検討していく。

運転経歴証明書の見本



Q 高齢者の詐欺防止対策について

A 通話録音装置の貸与を実施する

Q 詐欺被害を防ぐためには、行政、警察、金融機関等のさらなる連携強化を図るべきではないか。

A 町では警察、金融機関と個別に取り組んでおり、詐欺の情報があ

れば、今後も防災行政無線を活用して注意喚起をする。

Q 一人暮らしの高齢者や高齢者世帯宅に向き、特殊詐欺等の防止に向けた広報啓発活動をさらに進めるべきではないか。

A 高齢者への居宅訪問の際、民生委員より「振り込め詐欺防止マニュアル」等を配布し、注意喚起を図っている。

Q 一人暮らしの高齢者や高齢者世帯に対して、通話録音機の無料貸出しや購入時補助などをすべきではないか。

A 録音機の貸与を無料で先行し、詐欺防止に取り組んでいく。

Q 待っている福祉から「アウトリーチ」型福祉へ

A 有効な手段で、必要と考える



たけぶちひろゆき
竹 渚 博 行 議 員

Q 町は、生まれた日から2歳の誕生日の前日までに購入したオムツ等、上限月額3000円（購入金額の8割）を助成している。現状をみると対象者によっては、8割の3000円をもらう人、月額3000円に満たない人、ほとんど使わない人、全く申請しない人、また四半期ごとに申請が必要だが、半年や1年で申請する人も要るようだ。事務処理も時間がかかる。

そこで、オムツ等無償化（月額3000円程度）にし宅配提供や保健師定期訪問を組合せることで母子の健康状態や虐待の有無をチェックする

Q 見守り活動で育児支援ができる「アウトリーチ」型福祉を取入れ、対象者のニーズの発見や関係づくりにより支援に繋がるよう積極的に働きかける必要があると思うが。

A この補助金を申請される方の中には、オムツ離れが早まるよう、布オムツを使用される方もおり、補助金制度として公平性に欠けている面も否定できない。今後については事業を見直し、できるだけ公平に福祉の恩恵がいき渡るよう、検討を重ねている。また、議

員提案の「福祉のアウトリーチ手法」に関しては、家庭で子育ての悩みを抱えている方に対する支援や手段であり児童虐待防止などの観点からも、非常に有効な手段であり積極的に行っていく必要があると考える。

Q 上信道植栗・中之条インター出入口における高速バス停等について

A 利便性を重視し調整する

Q このインターは、太田地区の住民は勿論中之条町・高山村の玄関口になる。町にとっても地域にとっても非常に重要な拠点と考える。そこで、高速バス停留所、コンビニエンスの誘致、地元農産物等の直売所ができれば、地元の活性化に繋がっていくと思うが。

A 上信自動車道の建設促進に伴い、県と相

談調整する中で早い段階からJRバス関東（株）と話し合いを行ってきつた。町として利便性も重視し、パークアンドライドという考えのもと、引き続き県や

A 上信自動車道の建設促進に伴い、県と相

談調整する中で早い段階からJRバス関東（株）と話し合いを行ってきつた。町として利便性も重視し、パークアンドライドという考えのもと、引き続き県や



上信道インター予定地付近の植栗交差点



たかはしひろし
高橋 弘 議員

農業振興・遊休農地の対応策について

農用地集積の推進と中山間地域等直接支払事業等に対応している

Q 豊かな自然環境の中で農業経営が行われているが、農業従事者の高齢化、後継者不足、労働人口の減少等により農地の維持管理が年々難しくなってきた。今後農業振興を図るための具体策は。

A 土地改良事業による土地基盤整備の推進、認定農業者等担い手農家への農用地集積の推進、農業施設・機械等の近代化の推進、中山間地域等直接支払事業、多面的機能支払交付金事業が中心的な対策と考える。また、現在は本宿上ノ原地区の土地改良の事業化を進めている。

Q 定年帰農者の育成、Uターン、新規就農者等に対する支援策についてどう考えているか。

A 農業機械導入事業補助金交付要綱を定め、農業の方が農業機械を導入する際に補助金を交付している。新規就農者の方には、農業次世代人材育成事業を利用して頂けるよう個別相談に応じている。



基盤整備された農地でのコンニャク芋収穫

有害鳥獣駆除の具体策について

防除対策と捕獲対策に取り組んでいる

Q 有害鳥獣は人的にも危害を及ぼすことがある。本年度は特にクマの目撃情報も多く寄せられている。また、CSF（豚コレラ）に対するイノシシ対策が問題になっているが、町では駆除対策と共に、野生動物との共生について検討するとあるがどの様に考えているか。

A 電気柵等の設置による防除対策と捕獲対策に取り組んでいる。また、農地と生息地との緩衝地帯を整備して侵入を防ぐとともに、餌となるような果樹や農作物残渣をなくすなど、集落周辺の環境を整備し、野生動物が定着しない生息環境対策を行うことで共生が図られると考えている。

Q 本年度は特にCSFに対するイノシシの捕獲が重要と考える。補助金の増額を行い土気の高揚を図ることが対策強化に繋がると考える。

A CSF対策として捕獲補助金の上乗せについて検討する。

CSF・ASFの侵入防止対策を徹底しましょう!

2018年9月、日本において28年ぶりCSFが発生した。近隣国では、CSF及びASFの発生が確認されており、輸入リスクが高い状況が続いています。

衛生管理を徹底しましょう!

- 立入禁止 (No Entry)
- 靴を消毒する
- 飼料に生肉を含む又は含む可能性がある場合は、十分に加熱処理
- 関係者以外の農場への立入を禁止
- 農場(畜舎)に出入りする際には、消毒を実施

CSF

2018年9月、11月、12月、2019年1月 日本で発生

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疫病です!
発熱、食欲不振、元気がなくなり、便血に続く下痢、呼吸障害等
症状を発見したら直ちに通報しましょう!

ASF

2018年4月 日本で発生

病状は多岐に渡り、暴急性では突然死亡、急性では発熱が見られます。
症状を発見したら直ちに通報しましょう!

病状は多岐に渡り、暴急性、急性、慢性、慢性の4種類があります。暴急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、皮下出血、呼吸障害、下痢、便血、オナラ中等を呈し、死亡率は100%に達し、

詳細情報はこちら(農林水産省) CSFについて ASFについて

CSF対策を呼びかけるポスター

Q 当町に住む若い世代に農業体験の機会を

A 関係団体と協議・研究を進めていきたい

Q 総務省の発表では、平成7年に約256万人だった全国の農業従事者は、平成30年には約145万人に減少している。約20年の間に約43%の減少率である。この農業人口の減少傾向は当町においても同様で、特に町の農業後継者・担い手不足は今後大きな問題だ。町としてどう認識しているか。

A 当町におけるコンニャク、スプレーマム、畜産などでの後継者の方々は一定程度把握はしているが、全体的には不足していると認識している。一方、認定農業者数については、個人36人・法人13組織の49件の方が

おり、近隣町村と同等と考えている。

Q 中山間地域であるわが町の農地・農業の衰退は、東吾妻町の存続と活性化にとっても問題だ。当町にある各種農業関係団体やJA等とさらに連携・協議し、農業後継者育成に向けて取り組むべきと考えるが。

A 現在、県とJAをはじめとする関係団体と

Q 国全体としては平成26年以降40代以下の新規就農者は若干増えているが、3年連続で2万人

とで、就農フェア・相談会を開催している。また、当町はスプレーマム産地として高い評価を受けているため、関係団体と連携し平成30年から「吾妻郡で農業体験してみませんか」と題した産地体験のPRを行っている。

A 提案については後継者育成の取り組みを行う中で、県・JAをはじめとする関係団体と協議・研究を進めていきたい。

また、中山間地域等直接支払事業で農機具等を取得しているところもあり、機械操作

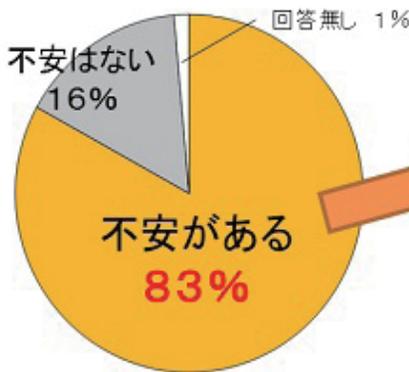
を越えている。この良き傾向を当町にも呼び込みたいが、例えば米作りを中心に「我が家の田んぼをする跡継ぎがない」という身近な声を多く聞く。「当町に住む若い世代に農業体験、農業に触れる機会」を増やす取り組みが必要と考えるがどうか。

の講習等を含め身近な地域での農業体験を行って頂くのも一つの取り組みと考える。



しげのよしゆき
重野能之議員

■将来の食料供給に対し…



資料: 内閣府「食料の供給に関する特別世論調査」(平成26年2月)

将来の食料供給に対する国民の意識 (農水省ホームページより)

不安の理由

「不安がある」と答えた人のうち…

82% が

国内生産による食料供給能力が低下するおそれがあるため

と回答。

Q 台風 19 号の町の防災対応について問う

A 様々な課題を見出した。これを今後の防災対策に活かしていく



いのうえひでき
井上英樹 議員

台風当日の対策本部の行動と警報発令について

Q 対策本部設置後の行動について時系列での説明を求める。

A 別表①の通り。

Q 今回、避難勧告の前並びに高齢者等避難開始」が発令されなかったのはなぜか。

A 気象台の直接情報に基づき判断していたが「避難準備勧告」等を発令するタイミングがなかった。今後、気象台の情報と併せ、各地区に住む職員からの情報収集も検討する。

Q 国の災害対策基本法では町長は独自に得た情報で警報等発令できるとある。今後は町長自身の判断で早めの警報発令をすべきではないか。

A 今回、当町で初めて避難勧告を出した。この経験を今後に活かしたい。

今回、防災対応で見出した課題とその対策は

Q 今回の台風において防災対応で見出した課題とその対策はどうか。

A 避難勧告の呼掛けのみ。聞き取りにくい放送だった。避難所開設は指定箇所の一部だった。

また、河川に近い遊歩道や公園の立入禁止等対策ができず危険な状況だった。対策として、地域連携による災害初動時の活動が重要と考える。行政区等とよく協議

し、初動対応をわかりやすく周知する予定。

Q 被害情報も重複し職員も対応に苦慮した。情報受付体制も見直すべきでは。

A 「防災マニキュアル」を策定する時に情報受付体制も連携して検討する。

120名を超える一時避難者からも当時の状況や課題について聞き取り調査を

Q 「東吾妻町地域防災計画」には「地域に係る災害が発生した場合、当該災害に関する情報を収集すること」と明記されている。当時の状況や課題について住民

から情報収集し、それを防災計画や防災マニキュアルに反映すべきではないか。

A 個人情報その他、様々な事情があり調査は難しい。この機会に住民からの情報を収集することも重要だと思つ。今後の対策として検討する。

※別表① 台風19号における町の対応

日時	事由	場所	備考
10月12日	(台風19号接近当日)		
8:30	災害警戒本部設置		
9:00	避難所開設	役場庁舎	
16:00	災害対策本部設置		
16:00	避難勧告発令	坂上地区	
16:00	避難所開設	町内4箇所	坂上公民館、須賀尾公民館、大柏木区民会館、秋生区民会館
16:21	大雨特別警報 発令	町内全域	気象庁
17:00	避難勧告発令	町内全域	
17:00	避難所開設	町内2箇所	岩島公民館、東支所
10月13日			
8:00	避難所閉鎖	町内6箇所	
11:00	避難所閉鎖	役場庁舎	
16:00	災害対策本部廃止		

Q 当町の出産・子育て政策のPRを強化してはどうか

A 積極的にPRしていきたい



わたるひとみ
渡 一 美 議 員

Q 現在の補助金制度を年表形式でとりまとめ、人生で訪れる出来事と補助金を受けるタイミングを見える化してはどうか？

A 出生から入学、結婚、就職など、人生のライフイベントに対応した補助金や支援制度を、年表形式でまとめたものを作成することにより、一目で分かりやすくなる。それぞれの人生設計に当てはめることができ、非常に良い提案だと思う。今後、関係課を通じて横断的に取りまとめ、作成していきたい。

SNSやホームページによる発信について

Q 子育て世代情報収集にはインスタグラムなどのSNSを利用し

ている。インターネット上の広告や発信を考えてはどうか。

A SNSの活用は非常に有効なものだ。今後検討して積極的に

使ってPRしていくことが必要と考える。町のホームページをより見やすく積極的にPRしていきたいと考えている。

Q 働きやすい環境づくりのために、テレワークを推進してはどうか

A 導入は難しいが、一つの手法として考える。他の手法も検討する

テレワークの活用で新規移住者を

Q 働き方が大きく変わっていく現在。テレワークやサテライトオフィスなど都会の会社に勤めながら、東吾妻町に住むといった働き方もできるのではないか。

をPRしていただきたい。東京都東吾妻町のふるさと回帰支援センター移住促進コーナーでのPRは、群馬で4番目。センターを大いに利用して、移住者を東吾妻町に募っていきたい。

A テレワークをするのに東吾妻町に移住をして、町から仕事を発信する。分析等行って広めていくように、また移住してくる方にもこの町

※テレワーク・・・場所や時間にとらわれない柔軟な働き方
※サテライトオフィス・・・本社以外に設置する小さなオフィス



ふるさと回帰支援センターのホームページ



たかはしのりき
高橋徳樹議員

Q スクラム支援参加自治体との相互連携模索を

A 町民を含めた事業を推進していきたい

Q 今般、7月には当町と名寄市、杉並区交流友好自治体協定締結30周年式典があった。とりわけ杉並区と先人の方が築き上げてきた各種友好交流の絆は貴重であり重要な財産と思う。成果は

A 30年の間、子供達の自然体験やスポーツ交流、阿波おどりや各種イベント交流が行われ、そのほとんどが現在も続いている。交流成果としては杉並区から気軽に足を運べる施設として「コニファーいわびつ」が平成7年に造られたこと。この施設を通じ、様々な交流のきっかけや拠点となり、町民と区民の橋渡

しを果たしている。

アンテナショップ等設立で産業振興を

Q 2011年4月、杉並区が中心となって自治体スクラム支援会議が発足。現在は当町を含め、9つの市区町村が参加しているが活動は。参加自治体とは災害防災のみならず町民のためになる共同事業を模索されているだろうか。また、歴史ある杉並区での朝市農産物販売関連事業も産業振興を重点にアンテナショップ等拠点創設も検討されているだろうか。

A 災害時には情報連絡窓口となる「窓口自治体」をブロック毎に設定している。窓口自治体は被災自治体に対して必要な情報を確認するとともに、各スクラム自治体と支援の総合調整を行うことにより、連携支援の最適化を図っている。今後はスクラム支援平常時

における連携を模索していく中で町民を含めた事業を視野に入れて推進していきたい。平成27年自治体首長フォーラムで、アンテナショップの話もあったが、家賃等の問題や他自治体共同運営でも費用対効果が得られない等の問題で纏まらなかった経緯がある。

榛名湖畔ふれあいの家活用を

Q 榛名湖畔ふれあいの家は十数年未利用だが、町民が有効活用できる施設として再復活できないか。

A 当該施設は令和2年度末までに、今後の利活用について個別計画策定調査結果等を基に判断したい。



杉並区役所前で開催された「あがつまの朝市」

Q 治療中断者に継続治療の勧奨を

A 町民の健康寿命延伸のため、さらに事業を進めていく

Q 過去に糖尿病歴があり治療中断者が気が付いた時には重篤になり人工透析になってしまつたという。国は平成28年から糖尿病腎症重症化予防プログラムを策定したことから国の理想形で事業をスタートできるチャンスだ。現在の町の取り組みを伺う。

A 県でのプログラムの策定が平成30年なので治療中断者の過去のデータがなく町独自の人数の把握はできていないが、人工透析者の半数は生活習慣病を起因とした方だった。把握しているのみの治療中断者を訪問したが、完全に中断した方はいない。取り組みとしては、特定健診未受診者に過去3年間をさかのぼり毎年11月に受診勧奨をしている。また国保データベースシステムの名簿により、今年度より保健師による訪問や電話による指導を強化している。

Q 文化・地域活動の一覧を広報し、参加しやすく住民活躍の土台に

A 住民の活動を広く紹介して、住民活躍の場を広げていきたい

Q 町内各地で展開されているものへ参加された方が、70歳過ぎても嬉しいと言っていた。まず公民館など公営施設での住民の取り組みを広く紹介し、興味あるものに参加してもらいたい。

Q 町の集いを住民に広報してもらおう施策を

A スマホ教室を自治体ですることができるか研究する

A 住民が活躍していれば、そこに人は集まり、交流人口や関係人口も増えると思う。広報誌を活用し広く紹介し、住

Q 町の催し物、ワークショップ、公民館などのクラブ活動を事前に閲覧板などで知ることができると、リアルにその様子を参加している人がスマートフォンで発信する情報を見て自分も参加し

たい、出かけたと思うという。操作やマナーなどの講習会を町主体で行い、住民が広報マンになれるような施策をしてもらいたい。



あおやぎ 青柳はるみ 議員

A スマートフォンを活用し、SNSで情報が町民に伝わりやすくなると思う。自治体では振り込め詐欺防止など防犯の目的で講習している。



議案などの審議結果

第3回 臨時会（令和元年10月1日～4日）

議案名	議員名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
						須崎幸一	渡一美	井上英樹	高橋弘	茂木健司	高橋徳樹	里見武男	小林光一	重野能之	竹淵博行	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	青柳はるみ	
令和元年度東吾妻町一般会計補正予算（第4号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/4
工事委託契約の締結（水源地域活性化支援事業）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/4
工事請負契約の締結（JR吾妻線線敷敷安全対策工事）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/4

第4回 定例会（令和元年12月4日～13日）

議案名	議員名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
						須崎幸一	渡一美	井上英樹	高橋弘	茂木健司	高橋徳樹	里見武男	小林光一	重野能之	竹淵博行	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	青柳はるみ	
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例		14	10	3	可	-	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例		14	12	1	可	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例		14	12	1	可	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町自転車型トロッコ貸出し条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町税条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町小学校入学祝金及び中学校入学支度金支給条例の全部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町公民館条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
令和元年度東吾妻町一般会計補正予算（第5号）		14	12	1	可	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
令和元年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
令和元年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第2号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
令和元年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算（第1号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席 議長（1番）は採決に加わらないため「-」で表示



議事録（会議録）をホームページに掲載しています

議会の定例会・臨時会の議事録をホームページに掲載しています。

また、本会議の議事録、委員会や議員全員協議会の会議録は、閲覧できるよう議会事務局に備え付けています。

町民の願い

・ご提言を議회가うかがう

東吾妻町議会では、昨年の11月5日（坂上公民館）6日（あづま農村環境改善センター）・7日（太田公民館）・8日（中央公民館）・9日（岩島公民館）の5日間、議会報告会を開催しました。

議会報告会は、町民にわかりやすく開かれた議会の実現を目指して、議会活動や仕組みなどについて理解していただくことを目的に行っています。令和元年度は5会場に66人の方が参加されました。

なお、結果（記録）については、準備ができれば議会ホームページで公開するほか、質問に対する回答などは各公民館と議会事務局に備え付ける予定です。

行財政関係

【質疑応答】

問 町の一般会計予算を見ると、人口はどんどん減っているのに、何でこんなにお金がかかるのか。納得いかない。一番お金がかかっているのは何か。

答 昨年については、原町保育所の建設にかかっています。収入に見合った町政運営をできればよいのですが、それでは福祉ができません。

問 消防署の移転工事が始まっているが、費用が11億円、そのうち50%が4町村で負担となっているが、嬭恋村と、草

津町は入らないのか。5億5000万円を4町村でどんな割合で負担するのか。

答 総額約11億円の半分は当町、残り半分は中之条町、高山村の負担となります。

問 ふるさと納税額が中之条町に比べ大変少ないが、これから増やすためにどんな工夫、どんな取り組みをするのか。

答 なかなかいいアイデアがなくて困っています。頑張るためにも皆さんのお知恵を拝借できればと思います。

問 庁舎が大分立派になって行政も順調かと思

うが、職員の意識改革のような機運が見られるかどうか、聞きたい。

答 玄関入ってすぐに総合窓口というのを作りました。また、職員の意識改革ということで、前例主義で無く、条例に基づき仕事を行うよう訴えしました。

問 町から日赤に大分補助が出ているようだが、中之条町や高山村は、どのぐらいの補助割合なのか。

答 不採算地域の公的病院に対する特別交付金という制度があつて、中之条町が1627万円、高山村が357万円、当

町から1980万円ほど。そのほかに、東吾妻町は原町赤十字病院の所在町村ということ、1000万円を医療機器の補助に支出しています。

【意見・要望】

◎ 町民の意見を聞くのに目安箱みたいなものをつくってほしい。

教育関係

【質疑応答】

問 孫が中学校に入ったのだが、給食の時間が15分ほどしかないと言つ、20分まで食べていると、怒られるというのだが。

答 給食の時間について、調査して、ゆっくりきちんと食べられるように教育委員会に対してお伝えします。

福祉医療関係

【質疑応答】

問 原町赤十字病院に視察、病院の職員との懇談という報告があつたが、議員さんがどう感じたか教えてもらいたい。

届け!! ご意見



答 一番問題なのは、原町日赤の医師の数が足りないということですが、これは全国的な問題で、新しい医師の研修制度が中央で検討されていると

いうことです。原町日赤の経営が苦しいという中で、我が町からは毎年1000万円程度の補助を出しています。その補助がきちんと使われているか、視察してきました。

問 医療関係機関への視察について。原町日赤の科の増設とか、今後どのように行っていくのか、考えがあればお聞きしたい。

答 原町日赤との懇談についてですが、遅い時間に急に具合が悪くなり病院に電話したとき、断られてしまうケースがあったり、平日の場合でも、症状の程度によっては診てもらえない場合があります。救急告示病院をみずから県に対して名乗り出ているわけなので、そういうことがないようにはしてもらいたいと、強く要望しました。

【意見・要望】
◎ 台風19号で須賀尾地区の2つの用水路が被害を受けた。一つは防火用水を兼ねている。これは須賀尾の大切な用水だから、優先順位を上げて対処してほしい。

問 災害時の対応について、来年の区長会長会議のときにマニュアルを提出すると聞いたが、災害マニュアル作成の検証とかプロセスに議員も関わることか。

答 東吾妻町地域防災計画という本の中に、それぞれ防災計画があります。この策定委員の中には議員は入っていません。

◎ 緊急時のメールだが、そのツールがあるのであれば、議会のお知らせなど他の色々なお知らせにも使つとよいのではないか。また、このメールが非常にわかりづらく、使い勝手が悪い。

問 今回の台風19号の災害時、議員の体制はどうだったのか、今回対策本部が町にできて、それがちゃんと機能を発揮したのか。

答 今回の台風19号の災害時、議員の体制はどうだったのか、今回対策本部が町にできて、それがちゃんと機能を発揮したのか。

【質疑応答】
防犯・安全関係
問 防犯カメラについて、どついつ基準で設置場所を決めているのか。今後どついつふうに設置する予定があるのか。

【質疑応答】
防犯・安全関係
問 防犯無線について、

答 今回の台風の翌13日に、議員に召集をかけ、

答 今、町内には大体15カ所で29基の防犯カメラが設置されています。設置箇所については、町と

警察等の協議等により決めているようです。法令・条例による、防犯カメラの設置基準はないようです。

地域振興関係

【質疑応答】

問 駅前活性化を進める方法を議会でも考えてほしい。

答 原町の皆さんの意見を一番先に聞くのが重要だと思つので、商店街意向調査を行っています。高校生から、学校の帰りに勉強するスタディバンクという部屋が欲しいといった要望も出ています。

【意見・要望】

◎ 上信自動車道が開通すれば、草津・長野方面に行くお客は既存の道路を通らず、地域の衰退が非常に懸念される。何とかお客を引きとめる努力を、町行政当局と議会と一緒に考えてもらいたい。

町有施設関係

【質疑応答】

問 利用していない町有地や、利用率がよくない町有施設の有効活用について聞きたい。

答 議会でも、議員が一般質問の中で何とかするよう求めています。企業を誘致するか、住宅団地にするか、議員の中でも意見が分かれている部分があります。町には伝えてあります。

問 消防署の移転工事が始まっているが、中学校の校舎は壊してしまつのか、それとも再利用するのか。

答 基本的には全部取り壊すのではなく、改修、改築をして再利用します。

問 岩島の旧保育所について、活用する計画があると聞いたが、それについて聞きたい。

答 岩島地区の学童保育所の要望が多く、岩島地区だけ学童保育がない状

態なので、学童保育所として利用を考えているようです。

問 旧役場庁舎跡地の利用について。来年何月ごろまでに解体する予定なのか。解体業者は決まっています、見積もりもできているのか。

答 来年の夏過ぎ頃に解体したいと聞いています。業者や見積もりについてはまだ決まっていないようです。

道路・交通関係

【質疑応答】

問 町道須賀尾・大柏木線だが、大柏木側に比べ、須賀尾側は狭いので、そこも幅員を広げてほしい。

答 この町道の周辺は、公図困難で、国土調査をおこない、ある程度持ち主をはっきりさせないと工事着手できません。先に国土調査を始めていきます。終わるまでお待ちください。

問 植栗に消防署が移

転して、救急車もそこから出動することになるが、槻木の信号から、東橋の上まで渋滞していることが多い。

このときに救急車が来ると、東橋の上では避けるスペースがないので救急車が通れなくなってしまう。何かいい解決方法はな

いか。

答 槻木の交通渋滞については県も認識しており、渋滞緩和のため信号周辺を拡幅する方向で考えているようです。

問 沼尾大橋について、橋の部分を渋川市と東吾妻町の重複道路にするという話だが、渋川市議会ではもう可決したという話を聞いた。東吾妻町の進捗状況を教えてください。

答 9月議会で、東吾妻

令和元年度議会報告会

届け!!
町民の願い

議会では、町民の皆さんにわかりやすく、開かれた議会の実現を目指し、右記日程で「議会報告会」を開催します。当日は、議会の活動状況などを知っていただくとともに、皆さんから直接ご意見やご提言をうかがいます。皆さんの生の声が反映された東吾妻町となるよう、議会として努めてまいりますので、お問い合わせのうえ、ぜひご参加くださるようお願い申し上げます。

開催日程

- ◎坂上公民館 大会議室 11月 5日(火) 午後7時～
- ◎あづま農村環境改善センター 11月 6日(水) 午後7時～
- ◎太田公民館 大会議室 11月 7日(木) 午後7時～
- ◎中央公民館 相談室 11月 8日(金) 午後7時～
- ◎岩島公民館 大会議室 11月 9日(土) 午後7時～

※いずれの会議でも参加できますので、都合の良い日にお出かけ下さい。

東吾妻町議会事務局
☎68-2111 (内線2341)
= 東吾妻町議会 =

町、渋川市共に可決、認定されて、重複道路となりました。今後は、維持管理については渋川市が行い、費用は折半ということで協議が進んでいるようです。

地域公共交通関連

【質疑応答】

問 子供と一緒にバスを利用するという話の中で、もし時間帯を別にするんだったら、買ったものを入れるところをくくってもらいたい。

答 地区内はデマンドバスという形で運行するようです。

観光振興関係

【質疑応答】

問 岩櫃城跡が国指定の史跡になる。また、上信道の関係で甲冑等いろいろな物が出たので、それをセットで観光に生かさないか。

答 渋川市、東吾妻町、長野原町、嬭恋村の4市町村が連携して観光振興をやるよう町に伝えていきます。

【意見・要望】

◎ ハート形土偶のいろいろな土産品を、道の駅などで販売すれば喜ばれるのではないか。

◎ 道の駅あがつま峡のトイレはほかの道の駅に比べ数が少ない。トイレは非常に大切なので、改善してほしい。

産業振興関係

【質疑応答】

問 清瀧城跡地の太陽光発電について、進捗状況

と、地元住民の雇用計画などがあるのか、について聞きたい。

答 今年度の10月に工事着手して、設置に2年、3年かかるという説明を受けました。雇用については、草刈りを地元においていすという話を聞いています。

農業関係

【質疑応答】

問 豚コレラでイノシシが問題となっているが、ヒルも増えたりするのでは、もう少し猟友会の人数をふやしたり、補助金を出して、一層努力してほしい。

答 豚コレラについては、12月から来年の1月にかけて、ワクチン接種できる見込みです。また、猟友会の会員を増やす方策に関しては、資格を取るための補助制度を始めしています。

議会関係

【質疑応答】

問 議会だよりで、陳情・

請願が処理中というふうに記載している。処理中といっても具体的にどこまで進んでいるのかわからないので、具体的な進行状況を時々載せていただきたい。

答 今後は議会広報の「あの陳情・請願はどうなったか」に、進行状況について簡潔に記載していきます。

その他

【質疑応答】

問 温泉無料券について、どのくらい利用率があるか聞きたい。

答 計算すると、年間大体4000枚ぐらいの利用率になります。

問 温泉無料券について。70歳以上の人が利用可能とあるが、65歳から介護保険料を取っているのに、なぜ70歳以上からなのか。

答 正確な理由は不明ですが、敬老会に呼ばれる年齢ということで70歳としたのではないでしょう



か。

問 基盤整備して、起点杭が立ったが、草を刈るときなどに非常に邪魔なので、何か違う方法はなかったのか。

答 この杭に対して、別の場所でも工事の関係で邪魔だという意見を聞きました。町へその旨お伝えします。

【意見・要望】

◎ 温泉券は、なぜ70歳

以上にしたのか。小学生以下の無料温泉券を発行すれば、親と一緒に温泉に来るからの方が利用人数は増えるのではないか。

．．．．．
たぐさんのご質問・ご意見を頂きましたが、紙面の都合により、すべての質問や意見などを掲載することはできませんので、ご了承ください。

吾妻の夜明け～

校生議会及び懇談会を開催

昨年11月19日、吾妻中央高校生議会及び懇談会「RC議会～東吾妻の夜明け～」が、東吾妻町役場3階の議会議場で開かれました。8名の高校生議員からの一般質問に対し中澤恒喜町長らが答弁を行ったほか、閉会後は参加者全員で懇談会を行いました。

町政一般質問（要旨）

旧東吾妻町役場の跡地の利用について

8番 角谷 来綾議員

Q 旧東吾妻町役場を取り壊す予定と聞いているが、いつごろ取り壊す予定なのか。また跡地の活用予定について伺いたい。跡地の利用方法として、中之条のツインプラザのような、図書館と学習スペースのある施設を提案する。群馬原町駅を利用する学生が少なくなっただけ、そのような施設が町の活性化につながると考える。

A 旧役場庁舎は、耐震性がなく、築年数もかさんでいるため、令和2年

度には取り壊す予定。

東吾妻町総合戦略本部の行革推進部会特定課題対策分科会で、旧役場庁舎跡地の利活用をテーマに、どのような施設やスペース等にニーズがあるかなど検討している。

分科会内でも図書館や学習スペース等の話も出ている。町も、町民が集い活動できる、にぎわいと交流の拠点として位置づけ、町の活性化につながる利活用を進めていきたい。

高校生が利用するバスの活性化について

3番 加部翔大議員

Q 現在、吾妻中央高校に乗り入れているバスの

利用状況が余りよくないと聞いている。原因は、ほとんどの生徒が電車を利用している、バスの時刻や停留所がわかりにくい、の2点と考えられる。このことを踏まえて、以下のことを解決策として提案する。

①バスの運行本数をふやす、または電車の時間帯とずらして運行する。

②坂上地区や岩島地区全域までバスで行けるようにする。

③運行時刻表や停留所の確認をポスターやウェブ上で簡単にできるようにする。

A 現在のバス運行時間は、部活動をしている生徒といていない生徒対応のダイヤで、朝夕の登下校に配慮した運行となっていて、期末試験などの期間中は、早い下校時間に合わせ、1便を増発運行している。バス停留所は体育館脇の駐車場に設置をし、周知用横断幕を

フエンスに張るなど行い、不定期だが、バスのお知らせチラシや路線図入り時刻表などをホームルームを通じて配っている。

1つ目の提案について、現在でも多額の赤字が出ている路線なので、現在の状況で運行本数をふやすことは難しい。また運行時間帯の変更については可能と考えているので、検討していく。

2つ目の提案については、現在、坂上地区については、提案のように利便性を上げる見直しを検討している。

3つ目の提案について、本年度から群馬県と県内市町村が協力し、群馬公式「ぐんま乗換コンシェルジュ」というアプリを開発した。このアプリをダウンロードすれば、スマホからバスの時刻表や停留所、ルート案内、料金等を簡単に調べることができるので、ぜひ活用していただきたい。なお、

RC議会 ～ 東 吾妻中央高



学校内への大きなポスター掲示については、先生方とも相談し実現していきたい。

東吾妻町の子育て支援について

4番 石井胡桃議員

Q 保育園や学童では、児童に発熱などの症状が見られた場合には、保護者が迎えに行くことが前提となっているが、共働き家庭やひとり親家庭には、特に負担が大きい。

そこで、東吾妻町と病院とが連携し、病児を一時的に預けられるような場所を設ければ、子育てしやすい町として町の活性化にもつながると考える。

A 保育所と、こども園では、園児に37度5分以上の発熱があったり、体調不良が見られる場合には、園児を保護者や家族に迎えに来てもらっているが、その場合どうしても急な連絡となってしまう。

東吾妻町では、地域の实情に沿った政策目標として定めている重点事業の一つに、病児・病後児保育事業を位置づけている。病児保育や病気の回復期で安静の確保に配慮を要する病後児保育を行うには、保育士とは別に、看護師などを配置する必要がある。町では原町赤十字病院との間で病児・病後児保育事業の実施に向けた協議を進めている。その結果、まずは原町赤十字病院内の職員向けに、試行的に単独で事業実施をするための検討を始めたという回答をもらっている。町としても、一日も早く町民も利用できる病児・病後児保育事業が本格実施できるよう、原町赤十字病院との協議を進めてゆく。

東吾妻町の土砂災害警戒区域について

5番 市場歩夢議員

Q 東吾妻町は、土砂災害警戒区域が広く指定されている。今回の台風19号により避難勧告が出たとき、避難を呼びかける防災無線が聞き取りにくかったという話を聞いた。町では、防災無線のほか、に町民全体に避難を呼びかける工夫をしているのか。また、避難をする場所や建物の安全性を定期的に点検したり、長期間の避難にも対応できる設備などを整えたりしているか。さらに、年に数回でもよいので、避難訓練を実施できると、町民の防災への意識も高まると思う。

A 避難を呼びかける工夫については、今回の台風19号では、防災行政無線の戸別受信機で避難勧告の放送をしたが、繰り返しの放送はできなかった。今後も今まで以上に、住民向けメール配信サービスの登録の呼びかけを行う。

次に、避難場所の安全

性及び設備についてだが、避難場所は役場、公民館、学校、体育館などで、各施設ごとに普段から安全性の確保に努めている。避難が長期化するようだと不足するものもあるが、関係機関と協力して補っていく。避難訓練については、県及び気象庁と連携を図りながら、県防災情報システムを活用した通信訓練を毎年実施しているが、町独自の避難訓練は現在のところ行っていない。実施については、消防団や広報紙等を通して、再度防災知識の普及を図り、地域の状況に合った防災訓練計画を年度、地域ごとに実施していく予定。

自力で買い物に行くことが困難な人への対策について

6番 倉田歩美議員

Q 昨年度の質問で、自力で買い物に行けない人への支援について伺った

が、その後、路線バスや買い物代行、移動販売といった支援政策の利用率は上がっているのか。バスの経路や買い物代行、移動販売日などが、高齢者にきちんと伝わっているのか疑問なので、防災無線やチラシで周知したらどうか。

A 買い物代行や移動販売の利用率について、移動販売や宅配は民間で行っていることなので、利用率の状況については把握していない。商工会の買い物代行については、昨年度、延べ利用者が73人、月平均で6・1人の利用があったが、今年度は10月までで延べ利用者数55人、月平均7・9人の利用となっている。

高齢者への情報周知については、買い物代行がチラシを配布すると利用者が増える状況であるため、より丁寧に行っていきたい。

路線バスの運行改善に

については、今後、坂上地区において、高齢者により利用しやすいシステムとなるよう検討している。

東吾妻町の空き家問題と対策について

7番 大前優杏議員

Q 今年に入り、空き家除去費補助金の制度が導入された。大変すばらしい取り組みだと思うが、補助金額の上限が50万円、募集件数が3件と、金額や募集件数が少なく感じる。そこで、空き家の状況をさらに調査し、補助金の上限額を上げることを提案する。また、空き家を古民家カフェや学習スペースへとリメイクして、観光客の増加や高校生の利用をねらうてはどうか。

A 空き家対策については、平成28年度、町内の空き家所有者に、空き家等の利用に関する意向調査を実施。416人中、264人から回答をいた



だいた。回答率は63・5%と非常に高く、空き家に関する関心の高さがうかがえる。この調査票の回答結果から、全国平均より築年数が古い空き家が多く、空き家になってから10年以上経過したものが6割、所有者の活用意向が弱いといった事が判明。取り壊しの費用補助や利活用の方策が望

まれていることも判った。この調査結果をもとに、平成30年度より東吾妻町空き家除去費補助金を導入した。補助額は取り壊しに伴う費用の3分の1、補助金の限度額は50万円とした。問い合わせこそ多いものの、申請件数は年間十数件であるため、件数、補助限度額についても現在の内容で進



めていきたい。また議員が示した古民家カフェや学習スペースなども参考に、空き家の利活用を促すとともに、関係人口の創出や若者の移住・定住のきっかけとなるような施策も検討していきたい。

多機能商業施設設置の提案

2番 齊藤陸空議員

Q 東吾妻町の雇用不足とそれに伴う人口減少対策として、中之条町の「つむじ」のような多

機能商業施設の設置を提案する。特産品の販売やワークショップができるような施設をつくり、イベントを開き、他県からの来町者をふやすPR活動も積極的に行い、勉強スペースなどをつくって、中高生のような若者が集う場所としても活用できるように工夫をすることで、非常に活気ある場所になると思う。

A 旧役場跡地の利活用と群馬原町駅周辺の活性化を検討する中で、そのような施設もあわせて考えていければと思っている。東洋大学から交流拠点施設の提案や、図書館、学習スペース、今提案された多機能商業施設などの提案を受け、町民が集い、活動できる、にぎわいと交流の拠点として、町の活性化につながる利活用を進めていきたいと考える。

また、上信自動車道の開通に合わせ、観光案内

など情報発信機能の充実も図りたい。

東吾妻町への観光客誘致について

9番 山本和哉議員

Q 東吾妻町への観光客が減少し、観光収入も低下していると聞く。そこで、ツイッターやフェイスブック、ユーザーやフェイ

スブック、ユーチューブなどで魅力を発信し、全国や全世界に向けてPRすることを提案する。また、ポスターを作成して大きな駅に張るといったPRも必要だと考える。

A 東吾妻町の第2次総合計画の観光基盤ネットワーク整備の基本方針として、関係機関、団体等と連携し、必ず立ち寄りやすい観光地づくりと、町内での周遊観光の促進を図り、屋外Wi-Fi等の整備を促進し、外国人観光客を含むあらゆる層の観光客の利便性向上と誘客に努めることなどを定めている。町観光協会

と連携し、ほかにインスタグラムやユーチューブで観光情報の発信を行っている。町としてもツイッターやフェイスブック等、SNSの活用は、大切なツールだと認識しており、長野原町と連携し、来訪者が、スマートフォン等により情報取得及び情報発信できるよう、やんばフリーWi-Fiを道の駅あがつま峡に整備しインターネット接続手段を確保できるサービスもしている。

町観光パンフレットは、英語、中国語及び韓国語のパンフレットを作成した。観光ポスターは、今年高崎駅に掲示中。今後あらゆる媒体を駆使して観光情報を発信し、観光客数をふやす取り組みを進めていく。

参加者名 (順不同・敬称略)

さいとう 齊藤 大前	りく 陸空 (2年)	かべ 加部 加	しょうた 翔大 (2年)	いしい 石井 山本	くるみ 胡桃 和哉	いちば 市場 上原	あゆむ 歩夢 春香	くらた 倉田 竹井	あゆみ 歩美 文人
さとう 佐藤	ひろや 広彌 (2年)	そめかわ 染川	ゆうき 結紀 (2年)	ゆもと 湯本	なつき 菜月 (2年)	いしい 石井	ひとみ 瞳 (2年)	きくた 菊田	たいち 大地 (2年)
しのはら 篠原	かりん 果林 (2年)	かねこ 金子	ゆい 結依 (2年)	まちなか 町中	あんり 杏里 (1年)	いちば 一場	かの 香乃 (1年)	みやぎ 宮崎	まい 麻衣 (1年)
わしず 鷺頭	まい 舞 (1年)	こたけ 小竹	ちひろ ちひろ (1年)	かとう 加藤	あんな 杏菜 (1年)	あおやぎ 青柳	はな 花 (1年)		
さわだ 校長	さわだ 澤田	のりひこ 徳彦	たかほし 高橋	ようこ 陽子	こいぬ 小池	みずき 瑞紀			

しい町づくりへの提案～

学生議会及び懇談会を開催

昨年11月29日、東吾妻中学生議会及び懇談会「第3回東吾妻JHS議会」で新しい町づくりへの提案が、東吾妻町役場3階の議会議場で開かれました。6名の中学生議員からの一般質問に対し中澤恒喜町長らが答弁を行ったほか、閉会後には傍聴として参加した生徒も交え、懇談会が行われました。

町政一般質問（要旨）

道の駅あがつま峡の利用等について

2番 蜂須賀輝議員
Q ハツ場ダムの完成により、観光客の増加が想定される。そこで、道の駅あがつま峡の活用について伺いたい。

道の駅の農産物直売所を活用し、バーベキュースペースを設けたり、屋台を出してはどうか。
 また、今流行している華やかなキャンプ「グランピング」のスポットにしてはどうか。
A 地元の食材を使ったバーベキューや屋台はどうかとの提案だが、道の駅あがつま峡のメニュー

検討の材料に提案したいと思う。

天狗の湯を利用したキャンプ「グランピング」は、大変夢のある企画と思う。道の駅あがつま峡は、都市公園でもあるため、利用には一定の制限があるが、有効活用ができるよう検討したい。

東吾妻町子どもへの支援について

3番 堀込美紗輝議員
Q 東吾妻町には、小・中・高の学生が利用できる自習室がない。子供が充実した休日過ごすための施策は何かあるか。
 学生が使える自習室や、子供からお年寄りまで誰でも安く利用できる食堂

を兼ね備えた複合施設を建設してはどうか。

A 町では、子供を対象とした事業として、おもしろ科学教室や土曜教室、わんぱくキッズや読み聞かせ、スポーツ少年団活動などがあるが、岩櫃城忍びの乱や、戦国真田の岩櫃城探検隊の活動等に参加してはどうか。

次に提案については、町の総合戦略本部内の特定課題対策分科会で、役場旧庁舎跡地の利活用について調査研究を進めており、複合施設の建設について判断していく。

地域の活性化について

6番 下前翔暉議員
Q 現在、町をPRしたり活性化させたりする取り組みで効果が出ているものはあるか。

駅周辺の使っていない建物を活用し、カフェスペースやミニ図書館のよななものを作ってはどうか。

また、SNSは手軽な広告ともなるので、それを活用して町のよさを発信してはと考える。

A JR群馬原町駅周辺が活気づくことが町全体の活性化にもつながる。

町では、原町地区の商店街地域で空き店舗等を活用して事業展開する際、3年間家賃補助等を行っているが、本年度は申請する団体は無かった。

また、駅周辺に交流の場やSNSの整備を求める提案だが、旧役場庁舎跡地の利活用についての調査や研究の成果に基づき、複合施設の建設について判断していく。

子どもから高齢者まで交流できる場について

7番 篠原彩希議員
Q 東吾妻町には、日常的に人が集まれる場所や施設はどんなものがあるのか。また、今後の計画はあるのか。

学生、親子やお年寄り

東吾妻JHS議会

～新

東吾妻中



の、交流の場となる図書館のような公共施設をつくっていただきたい。

A 町の施設整備については、旧役場庁舎跡地の利活用が課題となっている。先ほども回答したとおり、分科会の調査や研究成果に基づき総合的に判断していきたい。議員提案の、子供から高齢者まで交流できる場となるよう検討する。

現在、町には子供から高齢者までが集まれるような図書館は無いが、町内5つの公民館には図書室が設置されており、中でも中央公民館は蔵書が多いので、ぜひご利用いただきたい。

東吾妻町の少子高齢化対策と、若者の就労支援について

10番 小林朋世議員

Q 東吾妻町は、少子高齢化に基づき人口減少が問題となっている。また、若者の働き手が少ないこ

とも課題であるが、町ではどのような対策をしているのか。

例えば、高齢者と子供が関われるような新しい施設をつくることで、若者の就労支援にもなる。
A 若者の就労支援は重要な施策であり、子供たちが高齢者とかかわっていける施設をつくることも若者の就労支援につながる。

現在、町で取り組んでいる若者の就労支援策としては、高校生を中心に合同企業説明会を開催し、地元企業へ就職して、地元で生活してもらう施策があり、今年12月12日に開催を予定している。

空いた畑の使い道について

11番 佐藤澄佳議員

Q 町では高齢化が進み、耕作されていない畑が目立つ。そのような畑を今後どのようにしていくのか。2つ提案したい。1つ目は、農業体験施

設をつくる。

この町にもりんご狩りやいちご狩りなど農業体験施設はあるが、まだまだ他の体験もできないのではないかと。2つ目は、農家の育成プログラムを作成。

将来農家を目指す人たちが一定期間我が町の農家とともに暮らし、この町で農家として定住する人に畑を貸し出す、または補助金を出す。

A 耕作放棄地対策だが、国においては、中山間地域等直接支払制度があり、町単独でも耕作放棄地の活用促進を目的として、農業者の農業用機械購入に補助金を出している。

また、規模拡大を目的とした、農地の貸し借りを仲介する農地中間管理事業という制度がある。農業体験施設については、原町平沢地内に

岩櫃体験農園がある。

農家の育成プログラムについては、県、JAと協力しながら就農フェアなどで就農相談を行っている。引き続きJA、県と協力しながら進めていきたい。

参加者名 (順不同・敬称略)

はちすか 蜂須賀 輝 (3年)	ひかる 霞 あすか (3年)	はっとり 服部 海大 (3年)	さとう 佐藤 澄佳 (3年)	教頭 小池 裕生	ほりごめ みさき 堀込美紗輝 (3年)	しもまえ しょうき 下前 翔暉 (3年)	くぼ あおい 久保 葵花 (3年)	つのだ ゆうせい 角田 湧星 (3年)	みやざき かずこ 宮崎 和子	はとり 羽鳥 篠原 小林 中井 教諭	なつき 夏樹 (3年)	さき 彩希 (3年)	ともよ 朋世 (3年)	わかば 天葉 (3年)	けんもち 剣持 智之
--------------------	-------------------	--------------------	-------------------	-------------	------------------------	-------------------------	----------------------	------------------------	-------------------	-----------------------	----------------	---------------	----------------	----------------	---------------

各委員会からの活動報告

総務建設常任委員会

12月定例会においては、総務課を始めとして町長・副町長、各担当課長が出席し、所管事務調査を実施しました。各委員からは、会計年度任用職員制度、農業振興協議会の農振除外申請等の在り方や景観条例についてなどを議論しました。また、

役場庁舎周辺の国道沿いなどに役場庁舎案内看板の設置が必要との意見なども出されました。

台風19号関連の被害の深刻な状況及び12月定例会に上程の条例・補正予算等の説明を受けました。

文教厚生常任委員会

10月4日午後1時より役場庁舎3階和室にて救急法講習会を実施しました。参加者は本常任委員会委員7名のほか5名の議員で行われました。実施に当たって日本赤十字社群馬県支部から講師と

して原町日赤病院職員3名の派遣を受けました。内容は「一時救命処置(心肺蘇生AEDを用いた除細動)の標準実技」と「災害が起こったときにあなたが支援できること」の2つのプログラムで充実した内容でした。

会期中、所掌各課の事務調査のほか12月11日に保健センター及び障害者福祉事業所ワークスタジオ吾妻、ラポール「あにまーと」の計3カ所を視察しました。予防医療の要として保健センター職員と、広範な業務内容について意見を交わしました。その後、町外から参入した障害者福祉施設2カ所の視察において、それぞれの運営理念に触れ今後の活動が大いに期待されると感じました。また、成人の引きこもり対策等として、2つの施設と保健センターとの官民連携も期待される場所です。

救急法講習会の様子



議会運営委員会

去る10月18日長野県飯綱町議会を視察調査しました。平成24年には議会基本条例を制定、その中で町民と議会との懇談会、出前講座、政策サポーター制度、議会広報モニター制度、災害等への対応等々大変参考になりました。

議会報告会について

去る11月5日火曜日から11月9日土曜日までの5日間で実施しましたが、委員会では10年を迎えた議会報告会の今後の運営の方法をどのようにする

か協議しました。

●吾妻中央高校生議会について
去る11月19日午後2時より澤田校長はじめ先生、生徒や、町執行部及び課長、議会で吾妻中央高校生議会及び懇談会を開きました。また、今回の懇談会は高校生にテーマ「東吾妻町(原町)に新しい道の駅を作り、雇用の確保や活性化を」を設定してもらい、生徒と議会、町執行部の活発な議論や貴重な意見をいただきました。

●東吾妻中学生議会について
去る11月29日午後2時より小池教頭先生はじめ先生、生徒や、町執行部及び課長、議会で東吾妻中学生議会及び懇談会を開きました。懇談会には中学生にテーマ「図書館などの勉強できる公共施設及び学校施設の改善について」を設定してもらい、生徒と議会、町執行部の

各委員会からの活動報告

活発な議論や貴重な意見をいただきました。

行財政改革特別委員会

1. 町有施設有効活用について11月6日に4か所の現地視察をしました。①榛名湖畔のふれあいの家は平成3年に新築されましたが、現在使えるようにするには浄化槽や室内の修理に多額かかります。町での活用の計画がないことから売却も含め考えていくよう提言しました。

②箱島の農村公園は17262㎡で現在渋川土木事務所に残土置き場として令和2年3月まで貸しています。速やかに土地活用をとの委員会からの意見に対し、町は町政懇談会で町有地にと地元の要望があったことから、住宅地、企業誘致も視野に入れ、法令を県に相談しながら取り組むとしました。

③公営住宅は昭和30年か

ら40年に建築され老朽化が進み、借地が多数を占めめめます。各地の住宅を集約していく計画のとこのですが、民間のアパートの借り上げも考えられるか調査を求めました。

④原町駅北コミュニティ広場は昭和56年に作られました。駅北の環境が変わり、経費の掛かるトイレや木が生い茂り暗いことから利活用の見直しを求めました。

2. 地域公共交通に関することでは12月にスクー



ハツ場ダム下の工事現場

ルバスと公共バスについて坂上地区の生徒の保護者との意見交換の結果を

3. 行財政改革に関することでは旧役場跡地と原町駅南の再開発について審議しました。駅前から広く考えていくよう進言しました。

ハツ場ダム及び地域開発特別委員会

去る11月14日に当委員会と長野原町ハツ場ダム対策特別委員会との合同意見交換会を実施しました。

意見交換会の前に、国交省によるダムサイト及び管理棟の見学を行いました。

その後、合同意見交換会を行い、両町の観光振興施設についてそれぞれ説明があり、屋内運動施設やダム湖面を運行する水陸両用バスの受付事務所棟などが整備中との事です。

当町からは自転車型トロッコ等の概要説明があ

りました。

また、12月9日に特別委員会を開催し、国交省、県、町より事業の進捗状況の説明がありました。

国交省からは台風19号の豪雨により10月15日に貯水率が100%となり、1日1m以下の放流を開始し、最低水位まで安全等確認していきたいとの報告がありました。

県からは仮称大柏木トンネルの天井コンクリート打設が、80%完了し、令和2年12月に完成予定との事です。

町からは廃線敷の自転車型トロッコで利用する道陸神トンネルの補修工事の完成が令和2年9月末を予定しているとの報告がありました。

次に上信自動車道ですが令和2年3月末、完成予定の祖母島・箱島バイパスが台風19号の影響で、災害復旧優先により、来年の夏頃の完成の見込みと説明がありました。

「日々是挑戦」

石田 靖子さん (岡崎在住)

理想の町ってどんな町・・・・・・・・？
ぼんやり考えていたら、ふと先日鑑賞したアマチュア吹奏楽団のコンサートを思い出した。五百の席は満席。立ち見もいる。かなりのプロモーション力だ。

楽しそうに楽器を奏でている演奏者たち。実に生き生きとしている。時折隣の団員とアイコンタクトを交わし微笑む姿を見て、団員同士の絆を感じた。

楽団の要である指揮者は、演奏中、終始メンバーに意識を集中させている。全体の音の調和を考えながら一人ひとりの音色をどう活かそうかと考え、全身をフルに使って演奏者の士気を鼓舞する。

こうしたひたむきな努力、熱意、思いやりは必ず相手に伝わるものだ。聴衆が全力で応援したくなるのも然りである。

想像してみよう。

もし東吾妻町が音楽ホールだとしたら？指揮者や演奏者が町民だったら？聴衆が世界中の人々だったら？

私たちは最大限美しいハーモニーを奏でる。誰かが音を外しても、みんなで補い励まし合う。誰一人欠けることなく、地道に練習を重ねてきた成果を、自信と誇りをもって聴衆に届ける。温かな音色に酔いしれた聴衆たちは私たちに盛大な拍手を送り、中には仲間入りを希望する聴衆すら現れる——。

私たちは刻一刻と未来に進んでいる。時代が変われば常識も変わる。日々の具体的な活動、勇気ある挑戦をもって旧態依然を変えてゆく。

優れた人財を登用し、教育と文化に長ける生涯学習。災害に強い町。みんなの力を結集すれば、「理想の町」が「現実の町」に・・・・・・・・。この話、妄想で終わらせたくない。



編集後記

議会だよりをご覧いただきありがとうございます。

い致します。

(渡一美)

より住民目線で読みやすい内容に変更し、多くの町民の皆さまに、深く議会活動を理解していただけるよう委員一丸で編集に取り組んでいきます。

今後ともよろしくお願

議会広報特別委員会
委員長 樹下 啓示
副委員長 井上 英樹
委員 渡 一美
委員 高橋 弘
委員 茂木 健司
委員 高橋 徳樹
委員 青柳 はるみ

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は3月4日開会予定 3月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 本会議	5 本会議	6 常委	7
8	9 常委	10 特委	11 特委 全協	12	13	14
15	16 本会議	17 本会議	18	19	20	21

※予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会